



## Cisco 1861 シリーズ Integrated Services Router クイック スタート ガイド

ライセンスおよび保証を含む

**【注意】** この文書はお客様の便宜のために作成された参考和訳であり、お客様とシスコシステムズとの間の契約を構成するものではありません。正式な契約条件は、弊社担当者、または弊社販売パートナーにご確認ください。

- 1 シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定（P.2）
- 2 概要（P.3）
- 3 マニュアル、機材、および工具（P.6）
- 4 装置（P.6）
- 5 Cisco 1861 Integrated Services Router のシャーシおよび電源の設置（P.8）
- 6 シャーシのアース（P.16）
- 7 電源の接続（P.18）
- 8 システムの起動（P.19）
- 9 インターフェイス番号（P.20）
- 10 初期設定（P.21）
- 11 次の作業（P.26）
- 12 技術情報の入手方法（P.27）
- 13 テクニカル サポート（P.28）

## 1 シスコ製品（ハードウェア）に関する1年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、Cisco.com で提供しています。次の手順を実行して、Cisco.com から *Cisco Information Packet*、および保証書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

[http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es\\_inpkc/cetrans.htm](http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpkc/cetrans.htm)

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03A0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。

Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注)

PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe の Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Warranty Document Number** フィールドに、次の製品番号を入力します。

78-10747-01C0

- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。

Cisco warranty ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

<http://www.cisco.com/en/US/support/>

### ハードウェア保証期間

1年間

### ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

## Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先：	
購入先の電話番号：	
製品モデル番号：	
製品シリアル番号：	
メンテナンス契約番号：	

## 2 概要

Cisco 1800 シリーズ Integrated Services Router ファミリの製品の 1 つである Cisco 1861 Integrated Services Router は、中小企業および大企業の小規模なブランチ オフィス向けのユニファイド コミュニケーション ソリューションです。カレンダー、E メール、Customer Relationship Management (CRM; 顧客対応管理) プログラムなどの既存のデスクトップアプリケーションおよび組み込みセキュリティを統合する一方、音声、データ、ボイスメール、自動応答機能、ビデオ、セキュリティ機能を提供します。次のコア コンポーネントを備えています。

- 最大 12 ユーザのコールを処理する Integrated Cisco Unified Communications Manager Express または Survivable Remote Site Telephony
- ボイス メッセージと自動応答機能のためのオプションの Cisco Unity Express
- Cisco Catalyst スイッチを介して Power over Ethernet (POE) 拡張可能な統合 LAN スイッチング
- WAN インターフェイス カードを広範にサポートするオプション

このマニュアルではルータの設置、起動、ネットワーク接続について、必要最小限の情報を提供します。また、次の情報が得られる他のマニュアルを紹介します。

- ルータの詳細な設置手順、特性、仕様
- モジュール、インターフェイス カード、電源装置、およびメモリの取り付け手順
- ソフトウェアの設定
- 適合規格および安全に関する情報

### 製品シリアル番号の記載位置

Cisco 1861 ルータのシリアル番号を記載したラベルは、シャーシ背面、インターフェイス カード スロット 0 の下にあります。

シャーシ上の製品シリアル番号の記載位置の詳細については、オンライン上の『Cisco 1861 Integrated Services Router Hardware Installation Guide』を参照してください。

## ハードウェア構成

Cisco 1861 Integrated Services Router は、Cisco 1861 Integrated Services Router の内蔵ポートとその他のハードウェア機能に基づきモデルごとに編成されたさまざまな構成で出荷されます。

表 1 に、WAN、LAN、Voice Interface Card (VIC; 音声インターフェイスカード)、およびその他のインターフェイスのラベルと説明、さらに、事前設定されたルータ ソフトウェア設定におけるこれらのインターフェイスの値を一覧します。



(注) 表 1 では、特に明記されていない限り、スロット / ポートはすべて右から左に番号が付けられています。

表 1 Cisco 1861 Integrated Services Router : インターフェイス

説明	ラベル	ソフトウェア設定での値
コンソール / 補助ポート	CONSOLE	—
ファストイーサネット 10/100 拡張ポート	EXPANSION	FastEthernet0/1/8
ファストイーサネット 10/100 WAN ポート	WAN	FastEthernet0/0
ファストイーサネット 10/100 Power over Ethernet (PoE) ポート	Power over Ethernet、および ACT 0 LNK ~ ACT 7 LNK	FastEthernet0/1/0 ~ 0/1/7
FXS (Foreign Exchange Station) ポート	FXS、および 0 ~ 3	port 0/0/0 ~ 0/0/3
FXO (Foreign Exchange Office) ポート	FXO、および 0 ~ 3	port 0/1/0 ~ 0/1/3
ISDN BRI ポート	B0 ~ B1	Top-to-bottom、port 0/1/0 ~ 0/1/1
データネットワークの VLAN 番号	—	Vlan1
音声ネットワークの VLAN 番号	—	Vlan100
MoH (Music-on-Hold) ポート		voice-port 0/4/0
コンパクトフラッシュスロット	COMPACT FLASH	flash
(工場出荷時のオプション) VIC : BRI*	VIC2-2BRI-NT/TE および 0 ~ 1	port 0/2/0 ~ 0/2/1
(工場出荷時のオプション) VIC : FXO*	VIC2-2FXO および 0 ~ 1 VIC2-4FXO および 0 ~ 3	port 0/2/0 ~ 0/2/1 または port 0/2/0 ~ 0/2/3
(工場出荷時のオプション) VIC : FXS*	VIC3-2FXS/DID および 0 ~ 1 VIC-4FXS/DID および 0 ~ 3 VIC3-4FXS/DID および 0 ~ 3	port 0/2/0 ~ 0/2/1 または port 0/2/0 ~ 0/2/3

\* Cisco 1861 Integrated Services Router の場合、工場出荷時に取り付け可能なオプションの VIC は 1 枚だけです。

\*\* 前面パネルのラベルはビルド固有です。機能には影響はありません。

## ソフトウェア コンポーネント

Cisco 1861 Integrated Services Router は、基本 IP テレフォニー システム用のソフトウェア設定が事前にインストールされた状態で出荷されます。したがって、電話機のユーザは、Cisco 1861 Integrated Services Router をイーサネットに接続し、IP Phone をプラットフォームに接続した後、数分以内で IP Phone に事前設定された番号を使用してコールを発信および受信できます。表 2 に、Cisco 1861 Integrated Services Router のソフトウェア コンポーネントの要約を示します。

表 2 Cisco 1861 Integrated Services Router のソフトウェア コンポーネント

ソフトウェア コンポーネント	説明	メリット
Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME)	中小企業のお客様および大企業の自律した小規模ブランチ オフィス向けの広範な IP テレフォニー機能を提供する入門レベルのコール処理システム。	IP Phone のすべてのファイルと設定が Cisco 1861 Integrated Services Router 内部に格納されるため、コスト効率の良い、高信頼な IP 通信ソリューションを実現します。
Cisco Unity Express	特に、中小規模のブランチ オフィス環境向けに設計されたボイスメールおよび自動応答サービスを提供します。	ユーザは、直観的な電話機のプロンプトと、管理を簡素化できる単純な Web ベースの GUI を使用して、ボイス メッセージやグリーティングを簡便に管理できます。
セキュリティ	既知または未知の脅威であるか、発生源が内部であるか外部であるかにかかわらず、情報の盗用、ウイルスの発生、およびアプリケーションの悪用を阻止します。	堅牢な一連のセキュリティ機能が統合されます。
Cisco IOS Firewall	ネットワーク レイヤおよびアプリケーション レイヤの攻撃、ウイルス、ワームから顧客ネットワークを保護すると同時に、ネットワークを経由する各種アプリケーション トラフィック フローを効率的に制御します。	企業は、ネットワーク アップタイムとセキュリティを保証できます。
Cisco Secure VPN	パブリック ネットワークを介して機密データを伝送し、共有インフラストラクチャを介してリモート アクセスをユーザまで行き渡らせます。	処理への影響を最小限に抑えながら VPN スループットを向上させるための最もコスト効率の良い方式です。

## ライセンスのサポート

Cisco 1861 Integrated Services Router は、異なるモデルに基づいて、最大 12 のユーザ ライセンスをサポートします。

## 3 マニュアル、機材、および工具

プラットフォーム全体のマニュアルについては、次の URL を参照してください。

[http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/access/acs\\_mod/1800/index.htm](http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/access/acs_mod/1800/index.htm)

このクイック スタート ガイドに記載されているマニュアルはすべて、Cisco.com から利用できます。P.26 の「11 次の作業」を参照してください。オンライン マニュアルを元のページ形式で表示または印刷する場合は、PDF アイコンをクリックしてください。

## 4 装置

ここでは、Cisco 1861 Integrated Services Router ハードウェアについて説明します。次のトピックを取り上げます。

- 付属品 (P.6)
- 付属していない品目 (P.6)
- 前面パネル ビュー (P.7)
- Cisco 1861 Integrated Services Router のシャーシおよび電源の設置 (P.8)

### 付属品

Cisco 1861 Integrated Services Router には、次の品目が付属しています。

- 次を含むアクセサリ キット：
  - 卓上設置用のゴム製の脚
  - RJ-45/RJ-45 イーサネット ケーブル
  - ライトブルーの RJ-45/DB9 コンソール ケーブル
  - 電源用の壁面取り付けブラケット
  - Cisco 1861 シリーズ Integrated Services Routers クイック スタート ガイド (このマニュアル)
  - Regulatory Compliance and Safety Information Roadmap

次を含むラック取り付けキット (別売) は、別途発注できます。

- 電源ブラケット
- シャーシ用ラックマウント ブラケット
- アセンブリ ハードウェア (ネジ)
- *Installing Components for Cisco 1861 Integrated Services Router*

### 付属していない品目

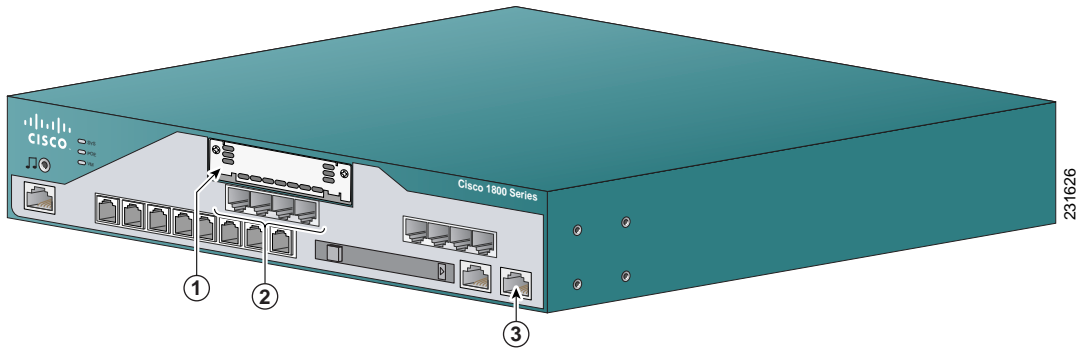
次に一覧する付属していない品目が必要となる場合があります。

- Cisco Unified IP Phone
- 電話機を接続するためのケーブル
- 外部オーディオ デバイスを 3.5 mm MoH ポートに接続するためのケーブル
- WAN インターフェイス、音声インターフェイス、または追加の LAN インターフェイス用のケーブル
- Web ベースのシステム管理ツールを使用するための Microsoft Internet Explorer 6.0 以上がインストールされた PC

## 前面パネル ビュー

図 1 に、Foreign Exchange Office (FXO) ポートを備えた Cisco 1861 Integrated Services Router の前面パネルを示します。

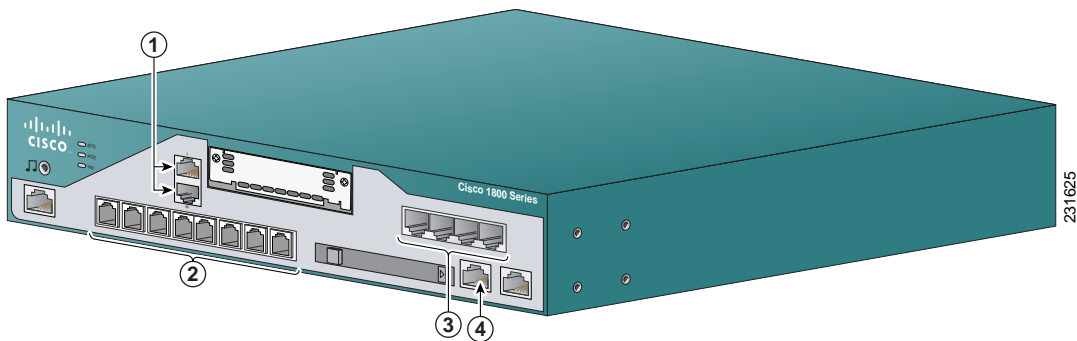
図 1 FXO ポート装備の Cisco 1861 Integrated Services Router



1	WAN スロット	3	拡張スイッチ ポート
2	FXO ポート		

図 2 に、BRI ポートを備えた Cisco 1861 Integrated Services Router の前面パネルを示します。

図 2 BRI ポート装備の Cisco 1861 Integrated Services Router



1	BRI ポート	3	FXS ポート
2	Power over Ethernet (PoE) ポート	4	ファストイーサネット (FE) ポート

## CPI ツール

Cisco Product Identification (CPI) ツールを利用すると、Cisco 製品のシリアル番号ラベル位置を示す詳細な図と説明が得られます。このツールには、次の機能があります。

- ツリー構造の製品階層図を使用してモデルを閲覧できる検索オプション
- 複数の製品を調べる場合に便利な最終結果ページの検索フィールド
- 結果リストにおける販売終了製品の明示

このツールによって、シリアル番号ラベルを探して製品を識別する作業がスムーズに進みます。シリアル番号情報によって、資格確定プロセスが迅速に完了します。この情報はサポート サービスを利用する場合に重要です。

CPI ツールには、次の URL からアクセスできます。

<http://tools.cisco.com/Support/CPI/index.do>

## 5 Cisco 1861 Integrated Services Router のシャーシおよび電源の設置

ここでは、次を含む、基本的な設置手順について説明します。

- [安全に関する情報 \(P.8\)](#)
- [警告の定義 \(P.8\)](#)
- [設置する際の注意事項 \(P.10\)](#)
- [卓上への設置 \(P.11\)](#)
- [Cisco 1861 Integrated Services Router の壁面取り付け \(P.11\)](#)
- [Cisco 1861 Integrated Services Router のラックマウント \(P.13\)](#)

### 安全に関する情報

Cisco 1861 Integrated Services Router の『*Regulatory Compliance and Safety Information*』に、このマニュアルに記載されている警告が各国語で記されています。

Cisco 1861 Integrated Services Router の作業を行う前に理解しておくべき安全に関する情報については、Cisco.com にある『*Regulatory Compliance and Safety Information*』を参照してください。

### 警告の定義



#### 警告

#### 安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。

注：これらの注意事項を保存しておいてください。

注：このマニュアルは、製品に付属のインストレーションガイドと併せて利用してください。詳細については、インストレーションガイド、コンフィギュレーションガイド、またはその他の添付資料を参照してください。ステートメント 1071



#### 警告

高電流漏洩：テレコミュニケーション ネットワークに接続する前に、永続的なアースの接続を確立してください。ステートメント 343





**警告**

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。ステートメント 1001



**警告**

インストレーション手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004



**警告**

いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐに手が届く状態にしておいてください。ステートメント 1019



**警告**

感電を防ぐため、Safety Extra-Low Voltage (SELV; 安全超低電圧) 回路を Telephone-Network Voltage (TNV; 電話網電圧) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路が組み込まれ、WAN ポートには TNV 回路が組み込まれています。一部の LAN ポートと WAN ポートは、どちらも RJ-45 コネクタを使用します。ケーブルを接続するときに注意してください。ステートメント 1021



**警告**

装置の電源がオフであるかオンであるかにかかわらず、WAN ポートには危険なネットワーク電圧がかかっています。WAN ポート付近で作業するときには、感電しないように十分に注意してください。ケーブルを取り外す場合は、装置側から先にケーブルを外してください。ステートメント 1026



**警告**

ブラックの前面プレートおよびカバー パネルには 3 つの重要な機能があります。シャーシ内の危険な電圧および電流による感電を防ぐこと、他の装置への Electromagnetic Interference (EMI; 電磁干渉) の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の空気の流れを適切な状態に保つことです。必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーをスロットに正しく取り付けられた状態で、システムを運用してください。ステートメント 1029



**警告**

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030



**警告**

電話回線がネットワーク インターフェイスから切り離されている場合以外、絶縁されていない電話ケーブルや端子には、触れないでください。ステートメント 1037



警告

雷雨の間は電話機（コードレス タイプ以外）の使用を避けてください。わずかですが、落雷から感電する危険性があります。ステートメント 1038



警告

この製品を廃棄処分する際には、各国の法律または規制に従って取り扱ってください。ステートメント 1040



警告

この装置の設置および保守は保守担当者（AS/NZS 3260 で定義）が行ってください。この装置を誤って汎用コンセントに接続すると危険な場合があります。主電源コネクタの電源を抜く前、ハウジングが開いている間、または主電源コネクタの電源を抜く前でハウジングが開いている間に、通信回線を切断する必要があります。ステートメント 1043



警告

システムの過熱を防止するために、室温が 40 °C を超える環境では使用しないでください。ステートメント 1047



警告

絶縁されていない金属接点、導体、または端子を Power over Ethernet (PoE) 回線の相互接続に使用すると、電圧によって感電事故が発生することがあります。危険性を認識しているユーザまたは保守担当者だけに入りが制限された場所を除いて、このような相互接続方式を使用しないでください。入りが制限された場所とは、特殊なツール、ロックおよびキー、または他のセキュリティ手段を使用しないと入室できない場所を意味します。ステートメント 1072



警告

ユーザによる交換が可能な部品は含まれていません。開けないでください。ステートメント 1073

次のステートメントは、北欧諸国にのみ適用されます。



警告

この装置は、入りが制限された場所に設置することを前提としています。入りが制限された場所とは、特殊なツール、ロックおよびキー、または他のセキュリティ手段を使用しないと入室できない場所を意味します。ステートメント 1017

## 設置する際の注意事項

Cisco 1861 Integrated Services Router を設置する前に、Cisco.com にある『*Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco 1861 Integrated Services Router*』を読んでください。


このプラットフォームは、完全独立した装置です。特に指示がない限り、モジュールやインターフェイスを取り外したり、取り付けたりしないでください。


設置場所を選択するときには、次の注意事項にしたがってください。

- ケーブルは、ラジオ、電力線、蛍光灯などの電気ノイズの発生源から遠ざけて配線します。
- 次の点に留意して、前面パネルおよび背面パネル周囲にスペースを確保します。
  - プラットフォーム周囲と通気口の通気が妨げられないようにします。
  - 前面パネル LED が容易に読み取れるようにします。
  - 配線が妨げられないように、ポートでの作業が十分に行えるようにします。
- 設置場所の最高温度は 40 °C (104 °F)、最高湿度は 85 %、最高高度は 3049 m (10,000 フィート) です。

## 卓上への設置

Cisco 1861 Integrated Services Router および電源を卓上に設置する場合は、次の注意事項に従ってください。


 **注意** 冷却に必要な通気が妨げられないように、Cisco 1861 Integrated Services Router を設置する必要があります。卓上にプラットフォームを設置する場合は、冷却用の吸気口と排気口の周囲に 2.54 cm (1 インチ) 以上のスペースを確保してください。

 **注意** シャーシの上に 4.5 kg (10 ポンド) を超える重量のものを載せないでください。また、シャーシを積み重ねないでください。

シャーシを卓上などの水平面に設置するには、装置の上下を逆にして水平面上に置きます。装置底面の凹部分にゴム製のパッドを取り付けます。その後、装置を卓上に置きます。

## Cisco 1861 Integrated Services Router の壁面取り付け

Cisco 1861 Integrated Services Router および電源は、壁面などの垂直な面に取り付けることができます。

 **警告** この装置は、壁面に取り付けることが想定されています。壁面取り付け手順を十分に確認してから、取り付け作業を開始してください。適切な工具を使用しなかった場合、または正しい手順に従わなかった場合は、けがをしたりシステムが壊れたりすることがあります。ステートメント 248

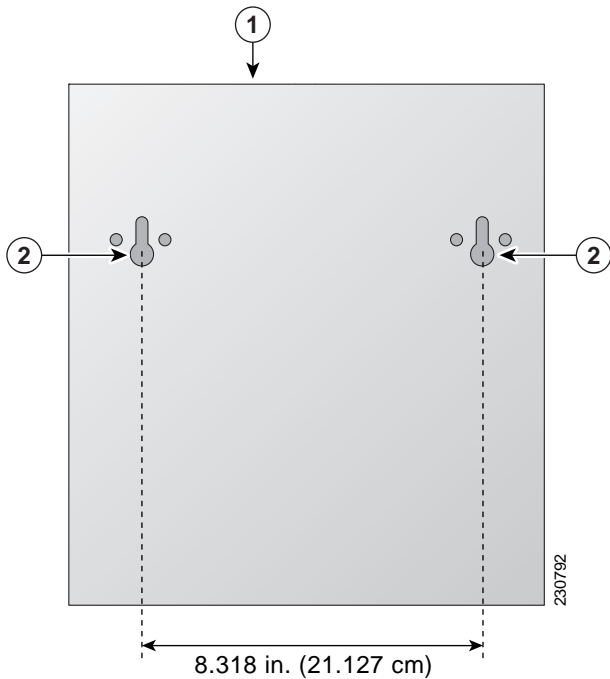
### シャーシおよび電源の壁面への取り付け

Cisco 1861 Integrated Services Router には、装置を壁面などの垂直な面に取り付けるための 2 つの鍵穴がシャーシ底面にあります。電源は、壁面取り付けブラケットを使用して壁面に取り付けます。シャーシと電源を壁面に取り付けるには、次の手順を実行します。

 **ヒント** ルータを壁面取り付けする場所を選択するときには、ケーブルの制限と壁面の構造を考慮します。

図 3 に、Cisco 1861 Integrated Services Router の底面と、壁面取り付け用の穴の位置を示します。

図 3 Cisco 1861 Integrated Services Router 底面の壁面取り付け用の穴



1	前面パネル	2	取り付け用ネジ穴
---	-------	---	----------

**ステップ 1** 取り付け用ネジ穴と壁面の突起の位置を合わせます。壁面取り付け金具を使用することもできます。

- a. 壁面の突起に取り付けるには、2本の#10木ネジ（丸ネジまたはなべネジ）と2個のワッシャ、または2本の#10ワッシャ付きネジを使用します。ネジは、支持木部または金属の壁面突起に20mm（3/4インチ）以上は貫通する長さが必要です。
- b. 中空壁面取り付けの場合は、壁面に12.7mm（1/2インチ）以上の厚みが必要です。2個のワッシャ付き壁面取り付け用金具を使用します。壁面取り付け用金具とワッシャは、取り付ける壁面に適したサイズである必要があります。

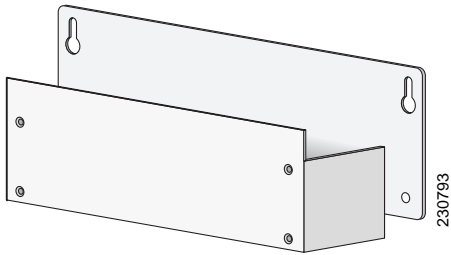
**ステップ 2** シャーシを壁面の取り付け位置に合わせます。

- a. シャーシの前面と背面を縦方向にして置きます。
- b. 装置の前面（TNV接続側）を上にし、電源コードへの接続が下になるようにする必要があります。

**ステップ 3** 図4に、電源の壁面取り付けブラケットと、金具背面の取り付け用ネジ穴を示します。取り付け用ネジ穴と壁面の突起の位置を合わせます。壁面取り付け金具を使用することもできます。

- a. 壁面の突起に取り付けるには、2本の#10木ネジ（丸ネジまたはなべネジ）と2個のワッシャ、または2本の#10ワッシャ付きネジを使用します。ネジは、支持木部または金属の壁面突起に20mm（3/4インチ）以上は貫通する長さが必要です。
- b. 中空壁面取り付けの場合は、壁面に12.7mm（1/2インチ）以上の厚みが必要です。2個のワッシャ付き壁面取り付け用金具を使用します。壁面取り付け用金具とワッシャは、取り付ける壁面に適したサイズである必要があります。

図 4 電源の壁面取り付けブラケット



**ステップ 4** 電源をブラケットの位置に合わせます。

- a. 電源の前面と背面を縦方向にして置きます。
- b. 電源ケーブルに近い端を上 に します。

---

## Cisco 1861 Integrated Services Router のラックマウント

### ラックマウント用ブラケットの取り付け

Cisco 1861 Integrated Services Router にブラケットを取り付けるには、次の手順を実行します。



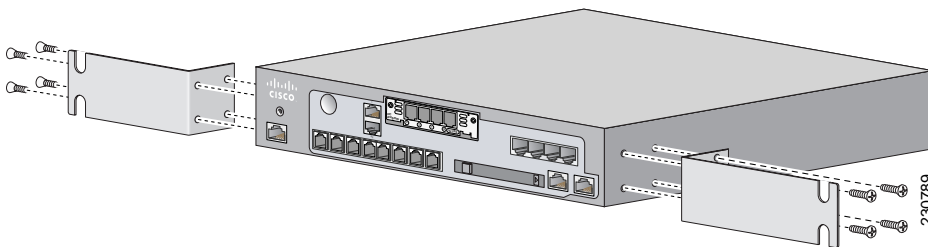
**注意**

ネジを締め過ぎないようにしてください。推奨されるトルクは 6 ~ 8 インチ ポンド (0.7 ~ 0.9 N-m) です。

---

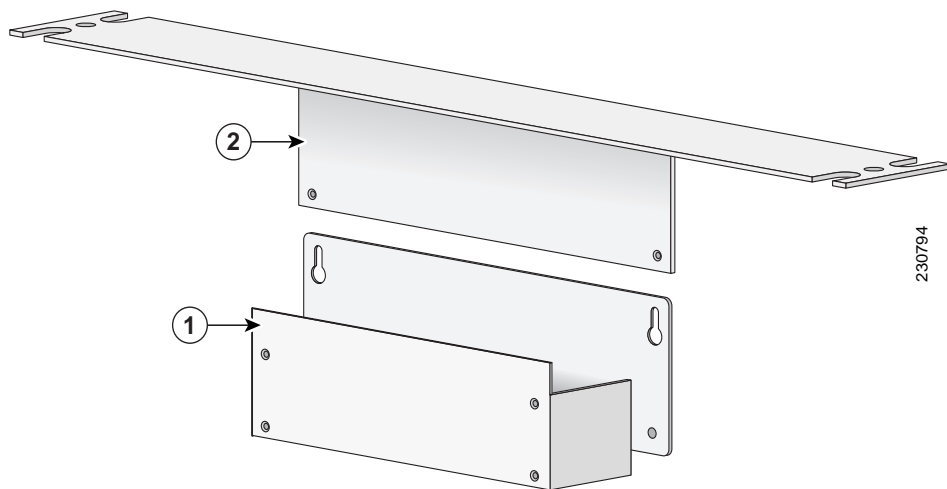
**ステップ 1** 図 5 に示すように、付属のネジを使用して、取り付け用ブラケットを Cisco 1861 Integrated Services Router シャーシに取り付けます。各側で 4 本のネジを使用します。#2 プラス ネジ用ドライバを使用して、ブラケットのネジをシャーシの両側に差し込みます。

図 5 ラックマウント ブラケットの Cisco 1861 Integrated Services Router への取り付け



**ステップ2** 図6に、電源のラックマウントキットのブラケットを示します。

**図6** 電源のラックマウント用ブラケット



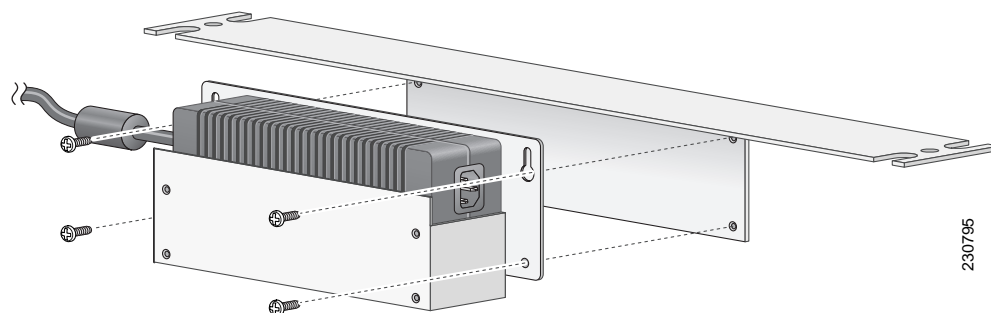
1	壁面取り付け用ブラケット	2	ラックマウントブラケット
---	--------------	---	--------------

**ステップ3** 電源を壁面取り付け用ブラケットの位置に合わせます。

- a. 電源の前面と背面を縦方向にして置きます。
- b. 電源ケーブルに近い端を上にしします。

**ステップ4** 図7に示すように、付属の4本のネジを使用して、電源のラックマウントブラケットを組み立てます。#2プラスネジ用ドライバを使用して、ブラケットのネジを固定します。

**図7** 電源のラックマウントキットの組み立て



## Cisco 1861 Integrated Services Router および電源のラックへの設置

シャーシと電源を取り付けるには、次の手順を実行します。



### 警告

ラックに装置を取り付けたり、ラック内の装置のメンテナンス作業を行ったりする場合は、事故を防ぐため、装置が安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。安全を確保するために、次の注意事項を守ってください。

- ラックに設置する装置が 1 台だけの場合は、ラックの一番下に取り付けます。
- ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置を一番下に設置して、下から順番に取り付けます。
- ラックにスタビライザが付いている場合は、スタビライザを取り付けてから、ラックに装置を設置したり、ラック内の装置を保守してください。ステートメント 1006



### 注意

シャーシの冷却に必要な通気が妨げられないように、シャーシを設置する必要があります。



### (注)

必ず、ラック内の各装置の上下にスペースを確保し、冷気が循環するようにしてください。

**ステップ 1** 各側で 2 本のネジを使用して(ラックに付属)、19 インチ ラックにラックマウントブラケットの付いた Cisco 1861 Integrated Services Router を取り付け、次にラックマウントブラケットの付いた電源を取り付けます。最下部のネジのペアから始め、上部のネジのペアを差し込むときに、ブラケットが下部のネジに載っているようにします。



### ヒント

ブラケットのネジ スロットが、ラック内のネジ穴のペアと 1 つおきに位置が合うようにします。適切なネジ穴を使用すると、ブラケットの小さなネジ穴が、ラック内の未使用のネジ穴とぴったり合います。小さな穴がラックの穴と合わない場合は、ブラケットの位置を上または下に移動し、次のラックの穴に合わせる必要があります。

## 6 シャーシのアース



### 警告

この装置はアースする必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技師に確認してください。ステートメント 1024

シャーシは信頼できるアースに接続する必要があります。アース線は、使用する地域の電気安全規格に従って取り付けてください。

NEC 準拠のアースには、14 AWG (2 mm) 以上の銅線と内径 5 ~ 7 mm (1/4 インチ) の適切なリング端子 (ユーザが用意) を使用してください。



### (注)

Cisco 1861 Integrated Services Router は NEBS には準拠していません。



### 警告

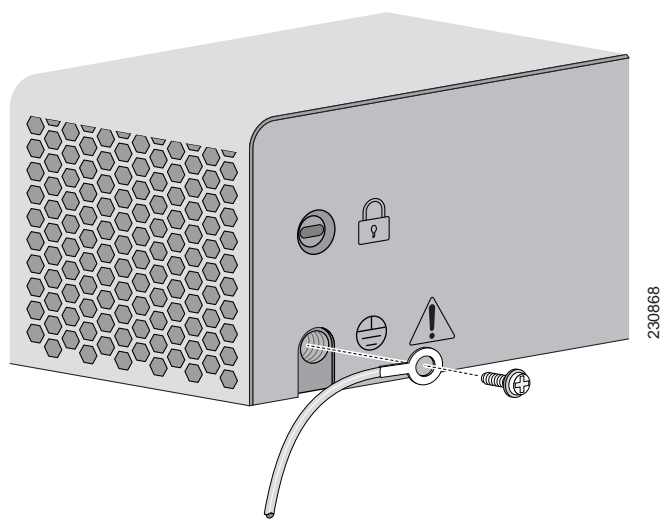
この装置はアースする必要があります。通常の使用時には、グリーンとイエローの 14 AWG のアース線を使用して、ホストとアースを接続しておきます。ステートメント 190

シャーシを信頼できるアースに接続するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** アース端子に必要な長さまで、アース線の片側の外被をはぎ取ります。
- アース端子の場合は、約 20 mm (0.75 インチ) です。
  - リング端子の場合は、必要に応じてはぎ取ります。
- ステップ 2** 適切なサイズの圧着工具を使用して、アース端子またはリング端子にアース線を圧着します。
- ステップ 3** [図 8](#) を参照し、シャーシにアース端子またはリング端子を取り付けます。8 ~ 10 インチ ポンド (0.9 ~ 1.1 N-m) のトルクでネジを締めます。



図8 アース線のシャーシへの取り付け



---

1	アース端子
---	-------

---

**ステップ4** アース線の反対側を既知の信頼できるアース位置に接続します。アース位置の信頼性に関して疑問がある場合は、資格のある電気技師に相談してください。

---

## 7 電源の接続



### 警告

---

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030

---



### 警告

---

ISDN 接続は、ユーザが触れることのできない電圧源とされています。Public Telephone Operator (PTO; 公衆電気通信事業者) 提供の装置または接続部品を開けたり改造したりしてはなりません。ハードワイヤ接続 (取り外しできない、1 回限りの接続プラグ以外) は、PTO のスタッフまたは適切な訓練を受けたエンジニアが行う必要があります。ステートメント 23

---



### 警告

---

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。ステートメント 1001

---

電源を Cisco 1861 Integrated Services Router に接続するには、次の手順を実行します。

---

**ステップ 1** AC 電源コードを電源に接続します。

**ステップ 2** 電源インターフェイス ケーブルを Cisco 1861 Integrated Services Router 背面の電源コネクタ ポートに接続します。

---

## 8 システムの起動

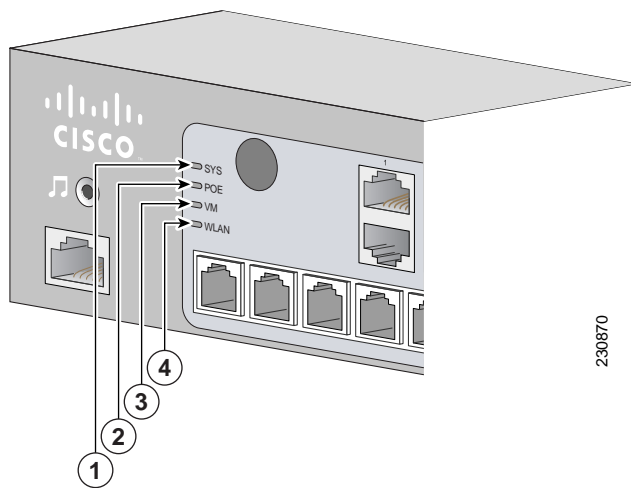
Cisco 1861 Integrated Services Router を起動するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** AC 電源コードが電源に接続されていることを確認します。

**ステップ 2** 電源の外部にはパワー オン/オフ スイッチはありません。電源と Cisco 1861 Integrated Services Router を起動するには、電源コードのプラグをアース付きの AC コンセントに接続します。

**ステップ 3** 必要に応じて、Cisco 1861 Integrated Services Router の前面パネルの LED インジケータを確認します。図 9 を参照してください。

図 9 Cisco 1861 Integrated Services Router の前面パネルの LED



1	SYS	緑色で点灯	オンライン
2	POE	緑色で点灯	接続済み
3	VM	緑色で点灯	オンライン
4	WLAN	緑色で点滅	接続済み

### ハードウェア構成の確認

ルータのハードウェア構成を確認するには、次のコマンドを入力します。

- **show version** : システム ハードウェアのバージョン、搭載ソフトウェアのバージョン、コンフィギュレーション ファイルの名前および保管場所、ブート イメージ、および搭載されている DRAM、NVRAM、およびフラッシュ メモリの容量が表示されます。
- **show diag** : 搭載されているコントローラ、インターフェイス プロセッサ、およびポート アダプタの診断情報が表示されます。ネットワーク モジュール、インターフェイス カード (WIC、VWIC、HWIC)、AIM などが代表的な例です。

## 9 インターフェイス番号

Cisco 1861 Integrated Services Router 上の各インターフェイス（ポート）は、番号で識別します。Cisco 1861 ルータには、次の WANLAN インターフェイス タイプがあります。

- 1つのオンボードファストイーサネット LAN インターフェイス（FastEthernet0/0）
- 1つのオンボードイーサネットスイッチ
- 4個の FXS ポートを備えた1つの固定 VIC スロット
- 4個の FXO ポートまたは2個の BRI ポートを備えた1つの固定 VIC スロット
- 1つのモジュラ HWIC/WIC/VWIC スロット

スロットの番号形式は **インターフェイス タイプ 0/ スロット番号 / ポート番号** です。表 3 に、インターフェイス番号の概要を示します。

表 3 インターフェイス番号

スロット番号	スロットタイプ	スロット番号の範囲	例 <sup>1</sup>
オンボードポート	ファストイーサネット	0/0	interface fastethernet 0/0
オンボードスロット1	ファストイーサネット スイッチ	0/1/0 ~ 0/1/7	interface fastethernet 0/1/0
固定 HWIC スロット 0	FXS	0/0/0 ~ 0/0/3	voice-port 0/0/0/
固定 HWIC スロット 1	FXO	0/1/0 ~ 0/1/3	voice-port 0/1/0
	BRI	0/1/0 ~ 0/1/1	
モジュラ HWIC スロット	HWIC/WIC/VWIC	0/3/0 ~ 0/3/x、x はカードタイプ に応じて異なる	interface serial 0/0/0

1. 記載されているインターフェイスは、あくまでも例です。他のインターフェイスタイプも使用できます。



(注)

Cisco 1861 Integrated Services Router 上で非同期インターフェイスを設定する場合、番号形式は **0/ スロット / ポート** です。非同期インターフェイスに対応する回線を設定する場合は、単純にインターフェイス番号を使用して非同期回線を指定します。たとえば、line 0/0/0 は、スロット 0 に搭載された WIC-2A/S 上の interface serial 0/0/0 に対応する回線を指定します。同様に、line 0/1/1 は、スロット 1 に搭載された WIC-2AM 上の interface async 0/1/1 に対応する回線を指定します。

## 10 初期設定

ルータは、次のいずれかのツールで設定できます。

- Cisco Router and Security Device Manager (SDM) : P.21 の「Cisco Router and Security Device Manager による初期設定」を参照してください。
- setup コマンド機能 : P.21 の「setup コマンド機能を使用した初期設定」を参照してください。
- Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) : P.24 の「Cisco CLI を使用した初期設定 : 手動設定」を参照してください。

### Cisco Router and Security Device Manager による初期設定

起動シーケンスの最後に次のようなメッセージが表示された場合は、ルータに Cisco Router and Security Device Manager (SDM) がインストールされています。

```
yourname con0 is now available
```

```
Press RETURN to get started.
```

SDM を使用してルータを設定する手順については、ルータに付属している『Cisco Router and Security Device Manager (SDM) Quick Start Guide』を参照してください。



#### ヒント

メッセージが表示されない場合、ルータに SDM はインストールされていません。そのため、『Cisco Router and Security Device Manager (SDM) Quick Start Guide』はルータに付属していません。SDM を使用する場合は、最新バージョンの SDM と、ルータにインストールする手順を次の URL からダウンロードできます。

<http://www.cisco.com/pcgi-bin/tablebuild.pl/sdm>

SDM クイック スタート ガイド、SDM リリース ノート、およびその他の SDM ドキュメントを入手するには、[www.cisco.com/go/sdm](http://www.cisco.com/go/sdm) で Technical Documentation リンクをクリックします。

### setup コマンド機能を使用した初期設定

ここでは、setup コマンド機能を使用してルータのホスト名を設定したりパスワードを設定したり、管理ネットワークと通信するようにインターフェイスを設定したりする方法を示します。

起動シーケンスの最後に次のメッセージが表示される場合は、setup コマンド機能が自動的に起動しています。

```
--- System Configuration Dialog ---
```

```
At any point you may enter a question mark '?' for help.
```

```
Use ctrl-c to abort configuration dialog at any prompt.
```

```
Default settings are in square brackets '[]'.
```

```
Would you like to enter the initial configuration dialog? [yes/no]:
```

setup コマンド機能はユーザにルータおよびネットワークの基本情報を入力するように促し、初期コンフィギュレーション ファイルを作成します。コンフィギュレーション ファイルが作成されると、ユーザは CLI または SDM を使用してさらに設定を追加することができます。

setup コマンド機能のプロンプトは、使用するルータ モデル、搭載されたインターフェイス モジュール、およびソフトウェア イメージに応じて変わります。次の例およびユーザ入力 (太字で表記) は、単なる例として示されています。

インターフェイス番号およびポート番号については、P.20の「9 インターフェイス番号」を参照してください。



**(注)** setup コマンド機能の使用中に操作を間違えた場合は、いったん setup コマンド機能を終了してから、もう一度実行することができます。Ctrl-C を押してから、イネーブル EXEC モードのプロンプト (Router#) に setup コマンドを入力します。

setup コマンド機能を使用するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** setup コマンド機能を使用して操作を進める場合は、**yes** を入力します。

```
Would you like to enter the initial configuration dialog? [yes/no]: yes
```

**ステップ 2** 次のメッセージが表示された場合は、**yes** を入力して管理基本セットアップを開始します。

```
At any point you may enter a question mark '?' for help.  
Use ctrl-c to abort configuration dialog at any prompt.
```

```
Default settings are in square brackets '[]'.
```

```
Basic management setup configures only enough connectivity  
for management of the system, extended setup will ask you  
to configure each interface on the system
```

```
Would you like to enter basic management setup? [yes/no]: yes
```

**ステップ 3** ルータのホスト名 (この例では **Router**) を入力します。

```
Configuring global parameters:
```

```
Enter host name [Router]: Router
```

**ステップ 4** イネーブル シークレット パスワードを入力します。このパスワードは暗号化されており (セキュリティ保護レベルが高い)、設定を表示しても参照できません。

```
The enable secret is a password used to protect access to  
privileged EXEC and configuration modes. This password, after  
entered, becomes encrypted in the configuration.
```

```
Enter enable secret: xxxxxxx
```

**ステップ 5** イネーブルパスワードには、イネーブルシークレットパスワードとは異なる文字を入力します。このパスワードは暗号化されていないので (セキュリティ保護レベルが低い) ので、設定を表示して参照することができます。

```
The enable password is used when you do not specify an  
enable secret password, with some older software versions, and  
some boot images.
```

```
Enter enable password: xxxxxxx
```

**ステップ 6** 仮想端末パスワードを入力します。このパスワードを設定することにより、コンソール ポート以外のポートを経由してルータに不正アクセスすることができなくなります。

```
The virtual terminal password is used to protect  
access to the router over a network interface.
```

```
Enter virtual terminal password: xxxxxxx
```

**ステップ7** ネットワーク環境に応じて、次のプロンプトに回答します。

```
Configure SNMP Network Management? [yes]:
Community string [public]:
```

使用可能なインターフェイスのサマリーが表示されます。



**(注)** インターフェイス番号は、シスコ モジュラ ルータ プラットフォームのタイプ、および搭載されたインターフェイス モジュールおよびカードによって異なります。

Current interface summary

Controller	Timeslots	D-Channel	Configurable modes	Status
T1 0/0/0	24	23	pri/channelized	Administratively up
T1 0/0/1	24	23	pri/channelized	Administratively up
T1 0/1/0	24	23	pri/channelized	Administratively up
T1 0/1/1	24	23	pri/channelized	Administratively up

Any interface listed with OK? value "NO" does not have a valid configuration

Interface	IP-Address	OK?	Method	Status	Pro1
FastEthernet0/0	unassigned	NO	unset	up	up

**ステップ8** ルータを管理ネットワークに接続する場合に使用するインターフェイスを1つ選択します。

```
Enter interface name used to connect to the
management network from the above interface summary: fastethernet0/0
```

**ステップ9** ネットワーク環境に応じて、次のプロンプトに回答します。

```
Configuring interface FastEthernet0/0:
Use the 100 Base-TX (RJ-45) connector? [yes]: yes
Operate in full-duplex mode? [no]: no
Configure IP on this interface? [yes]: yes
  IP address for this interface: 172.1.2.3
  Subnet mask for this interface [255.255.0.0] : 255.255.0.0
  Class B network is 172.1.0.0, 26 subnet bits; mask is /16
```

次の設定が表示されます。

The following configuration command script was created:

```
hostname Router
enable secret 5 $1$D5P6$PYx41/lQIASK.HcSbf05q1
enable password xxxxxx
line vty 0 4
password xxxxxx
snmp-server community public
!
no ip routing
!
interface FastEthernet0/0
speed 100
half-duplex
ip address 172.1.2.3 255.255.0.0
!
interface FastEthernet0/0
shutdown
no ip address
end
```

**ステップ 10** 次のプロンプトに応答します。[2] を選択して、初期設定を保存します。

```
[0] Go to the IOS command prompt without saving this config.
[1] Return back to the setup without saving this config.
[2] Save this configuration to nvram and exit.

Enter your selection [2]: 2
Building configuration...
Use the enabled mode 'configure' command to modify this configuration.

Press RETURN to get started! RETURN

ユーザ プロンプトが表示されます。

Router>
```

**ステップ 11** 初期設定を確認します。確認手順については、[P.25 の「初期設定の確認」](#)を参照してください。

---

## Cisco CLI を使用した初期設定：手動設定

ここでは、CLI を使用して設定のための CLI プロンプトを表示する方法を示します。CLI 設定に関するドキュメントも示しています。起動シーケンスの最後に次のメッセージが表示された場合は、CLI を使用できます。

```
--- System Configuration Dialog ---

At any point you may enter a question mark '?' for help.
Use ctrl-c to abort configuration dialog at any prompt.
Default settings are in square brackets '[]'.

Would you like to enter the initial configuration dialog? [yes/no]:
```

これらのメッセージが表示されない場合は、SDM およびデフォルトのコンフィギュレーション ファイルが出荷時にインストールされています。SDM を使用してルータを設定する手順については、[P.21 の「Cisco Router and Security Device Manager による初期設定」](#)を参照してください。

インターフェイス番号およびポート番号については、[P.20 の「9 インターフェイス番号」](#)を参照してください。

---

**ステップ 1** CLI を使用した手動設定を継続するには、起動メッセージの最後に **no** を入力します。

```
Would you like to enter the initial configuration dialog? [yes/no]: no
```

**ステップ 2** **Return** キーを押して、自動インストールを終了し、手動設定を継続します。

```
Would you like to terminate autoinstall? [yes] Return
```

複数のメッセージが表示され、次のような行で終了します。

```
Copyright (c) 1986-2004 by Cisco Systems, Inc.
Compiled <date> <time> by <person>
```

**ステップ 3** **Return** キーを押して、Router> プロンプトを表示します。

```
...
flashfs[4]: Initialization complete.
Router>
```



**ステップ4** イネーブル EXEC モードを開始します。

```
Router> enable
Router#
```

**ステップ5** 設定手順については、『Cisco 1800 Series Software Configuration Guide』で該当する設定手順を参照してください。これらのマニュアルの利用方法については、[P.26の「11次の作業」](#)を参照してください。



**(注)** 完了した作業が失われないように、作業中に定期的に設定を保存してください。NVRAMに設定を保存するには、**copy running-config startup-config** コマンドを使用します。

**ステップ6** 初期設定の完了後、初期設定を確認します。確認手順については、[P.25の「初期設定の確認」](#)を参照してください。

---

## 初期設定の確認

新しいインターフェイスが正しく動作していることを確認するには、次のテストを実行します。

- インターフェイスが正しく動作していて、インターフェイスおよびラインプロトコルが正しい状態（アップまたはダウン）にあることを確認するには、**show interfaces** コマンドを入力します。
- IP に設定されたインターフェイスのサマリー ステータスを表示するには、**show ip interface brief** コマンドを使用します。
- 正しいホスト名とパスワードが設定されていることを確認するには、**show configuration** コマンドを入力します。

初期設定を入力して確認したら、シスコ ルータに特定の機能を設定することができます。高度な設定手順を扱っているマニュアルの検索については、[P.26の「11次の作業」](#)を参照してください。

## 11 次の作業

設定手順の詳細については、該当する Cisco 1800 シリーズ ルータのマニュアルまたは Cisco IOS ソフトウェアのマニュアルを参照してください。いずれも Cisco.com からオンラインで利用できます。



### ヒント

各マニュアルの検索方法については、P.27 の「12 技術情報の入手方法」を参照してください。

### Cisco.com 上のマニュアルにアクセスする場合

Cisco 1861 ルータ プラットフォームのマニュアルを参照する場合は、<http://www.cisco.com> から Cisco.com にアクセスし、**Products & Solutions > Routers > 1800 Series Integrated Services Routers > Technical Documentation > マニュアルのタイプ > マニュアルの順**に選択します。

Cisco IOS ソフトウェアのマニュアルを参照するには、<http://www.cisco.com> から Cisco.com にアクセスし、**Products & Solutions > IOS Software > Cisco IOS Software Releases > 使用している Cisco IOS ソフトウェアリリースの順**に選択します。

プラットフォームの機能サポートについて最新情報を入手するには、<http://www.cisco.com/go/fn> から Feature Navigator II にアクセスします (Feature Navigator II を使用するには、Cisco.com への登録が必要です)。

### Cisco Connection Online (CCO) を使用してマニュアルにアクセスする場合

Cisco 1800 シリーズ ルータ プラットフォームのマニュアルを参照するには、<http://www.cisco.com> から Cisco.com にアクセスし、Quick Links の下の **Technical Documentation** タブをクリックします。Product Documentation という見出しから、Modular Access Routers に進み、さらにご使用のルータに対応するマニュアルに進みます。

Cisco IOS ソフトウェアのマニュアルを参照するには、<http://www.cisco.com> から Cisco.com にアクセスし、Quick Links の **Technical Documentation** タブをクリックします。Product Documentation という見出しから、ルータにインストールされている Cisco IOS ソフトウェア リリース対応の Cisco IOS ソフトウェア マニュアルに進みます。

## 12 技術情報の入手方法

シスコの製品マニュアルやその他の資料は、Cisco.com でご利用いただけます。また、テクニカル サポートおよびその他のリソースを、さまざまな方法で入手することができます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

### Cisco.com

次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

[http://www.cisco.com/public/countries\\_languages.shtml](http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml)

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

### マニュアルの発注方法（英語版）

英文マニュアルの発注方法については、次の URL にアクセスしてください。

[http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es\\_inpk/pdi.htm](http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpk/pdi.htm)

シスコ製品の英文マニュアルは、次の方法で発注できます。

- Cisco.com 登録ユーザ（Cisco Direct Customers）の場合、Ordering ツールからシスコ製品の英文マニュアルを発注できます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/partner/ordering/index.shtml>

- Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

### シスコシステムズマニュアルセンター

シスコシステムズマニュアルセンターでは、シスコ製品の日本語マニュアルの最新版を PDF 形式で公開しています。また、日本語マニュアル、および日本語マニュアル CD-ROM もオンラインで発注可能です。ご希望の方は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

また、シスコシステムズマニュアルセンターでは、日本語マニュアル中の誤記、誤植に関するコメントをお受けしています。次の URL の「製品マニュアル内容不良報告」をクリックすると、コメント入力画面が表示されます。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

なお、技術内容に関するお問い合わせは、この Web サイトではお受けできませんので、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。

## 13 テクニカル サポート

シスコと正式なサービス契約を交わしているすべてのお客様、パートナー、および代理店は、Cisco Technical Support で 24 時間テクニカル サポートを利用することができます。Cisco.com の Cisco Technical Support Web サイトでは、多数のサポート リソースをオンラインで提供しています。また、Cisco Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアが電話でのサポートにも対応します。シスコと正式なサービス契約を交わしていない場合は、代理店にお問い合わせください。

### Cisco Technical Support Web サイト

Cisco Technical Support Web サイトでは、シスコ製品やシスコの技術に関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、オンラインでマニュアルやツールを提供しています。この Web サイトは、24 時間 365 日、いつでも利用可能です。URL は次のとおりです。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support Web サイトのツールにアクセスするには、Cisco.com のユーザ ID とパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ユーザ ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>

### Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

### サービス リクエストの発行

オンラインの TAC Service Request Tool を使用すると、S3 と S4 のサービス リクエストを短時間でオープンできます (S3 : ネットワークに軽微な障害が発生した、S4 : 製品情報が必要である)。状況を入力すると、その状況を解決するための推奨手段が自動的に検索されます。これらの推奨手段で問題を解決できない場合は、Cisco TAC のエンジニアが対応します。TAC Service Request Tool には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

S1 または S2 のサービス リクエストの場合、またはインターネットにアクセスできない場合は、Cisco TAC に電話でお問い合わせください (S1 : ネットワークがダウンした、S2 : ネットワークの機能が著しく低下した)。S1 および S2 のサービス リクエストには、Cisco TAC のエンジニアがすぐに割り当てられ、業務を円滑に継続できるようサポートします。

TAC の連絡先一覧については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

## サービス リクエストのシビラティの定義

シスコでは、報告されるサービス リクエストを標準化するために、シビラティを定義しています。

シビラティ 1 (S1) : ネットワークが「ダウン」した状態か、業務に致命的な損害が発生した場合。お客様およびシスコが、24 時間体制でこの問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 2 (S2) : 既存のネットワーク動作が著しく低下したか、シスコ製品が十分に機能しないため、業務に重大な影響を及ぼした場合。お客様およびシスコが、通常の業務中の全時間を費やして、この問題を解決する必要があると判断した場合。

シビラティ 3 (S3) : ネットワークの動作パフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用は継続できる場合。お客様およびシスコが、業務時間中にサービスを十分なレベルにまで復旧させる必要があると判断した場合。

シビラティ 4 (S4) : シスコ製品の機能、インストラクション、コンフィギュレーションについて、情報または支援が必要な場合。業務の運用には、ほとんど影響がありません。

## その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手できます。

- Cisco Marketplace では、シスコの書籍やリファレンス ガイド、ロゴ製品を数多く提供しています。購入を希望される場合は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- 『Cisco Product Catalog』には、シスコシステムズが提供するネットワーキング製品のほか、発注方法やカスタマー サポート サービスについての情報が記載されています。『Cisco Product Catalog』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://cisco.com/univercd/cc/td/doc/pcat/>

- Cisco Press では、ネットワーク全般、トレーニング、および認定資格に関する出版物を幅広く発行しています。これらの出版物は、初級者にも上級者にも役立ちます。Cisco Press の最新の出版情報などについては、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『Packet』はシスコシステムズが発行する技術者向けの雑誌で、インターネットやネットワークへの投資を最大限に活用するために役立ちます。本誌は季刊誌として発行され、業界の最先端トレンド、最新テクノロジー、シスコ製品やソリューション情報が記載されています。また、ネットワーク構成およびトラブルシューティングに関するヒント、コンフィギュレーション例、カスタマー ケース スタディ、認定情報とトレーニング情報、および充実したオンライン サービスへのリンクの内容が含まれます。『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/packet>

日本語版『Packet』は、米国版『Packet』と日本版のオリジナル記事で構成されています。

日本語版『Packet』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/news/packet/>

- 『iQ Magazine』はシスコシステムズの季刊誌で、成長企業が収益を上げ、業務を効率化し、サービスを拡大するためには技術をどのように利用したらよいかを学べるように構成されています。本誌では、実例とビジネス戦略を挙げて、成長企業が直面する問題とそれを解決するための技術を紹介し、読者が技術への投資に関して適切な決定を下せるよう配慮しています。『iQ Magazine』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>

- 『Internet Protocol Journal』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当するエンジニア向けに、シスコが発行する季刊誌です。『Internet Protocol Journal』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/ipj>

- シスコは、国際的なレベルのネットワーク関連トレーニングを実施しています。最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>

---

**Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).**

Copyright © 2007, Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



シスコシステムズ合同会社  
〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー  
<http://www.cisco.com/jp>  
お問い合わせ先 (シスコ コンタクトセンター)  
<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>  
0120-933-122 (通話料無料)、03-6670-2992 (携帯電話、PHS)  
電話受付時間 : 平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

DOC-J-7818306=  
78-18306-01-J  
f1hi0803